

# 「サツマイモ基腐病」に関する注意喚起

全国各地で、**サツマイモ基腐病**  
による被害が拡大しています

## ★サツマイモ基腐病とは

2018年に沖縄県で初めて国内発生が確認され、その後全国各地に発生が拡大、鹿児島県、宮崎県では、大きな被害が発生しています。

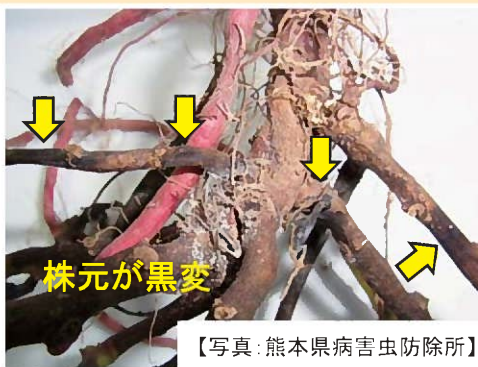
(令和3年12月現在、22都道県で発生確認。なお、大分県内での発生は確認されていません。)

## ★特徴 保菌した種イモや苗から圃場に持ち込まれます。

- 1) 気温が高くなってくると、地際付近から腐敗し始めるため発病に気づきにくい。
- 2) 確認が遅れると株全体が枯死する。
- 3) 一度発生すると、病原菌がイモやつるとともに土中に残るため毎年発病する。



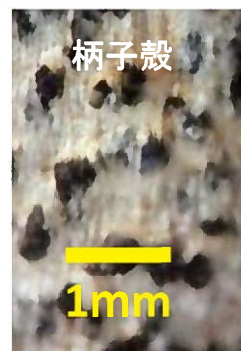
発病初期: 巻葉、褪色、株の萎縮



株元が黒変

【写真: 熊本県病害虫防除所】

拡大  
→



柄子殻

1mm

発病株の株元: 株元が黒変し表面に黒い柄子殻が見える



全滅した圃場: 生き残ったイモの一部が再生と枯死を繰り返す



なり首側

品種「高系14号」

イモはなり首側から腐敗する

種イモや苗は、**専用に販売**されているものを**消毒**して使いましょう  
(県の防除指針では、種苗消毒剤として、ベンレートT水和剤20を採用しています。)

### 【問合せ先】

大分県中部振興局生産流通部

J A おおいた南部事業部 (野津)

臼杵市役所農林振興課 (野津庁舎)

園芸第二班

営農支援企画課

農業振興グループ

TEL : 097-506-5768

TEL : 0974-32-2535

TEL : 0974-32-2229